

24 出前講座：阿蘇の草原を未来へつなごう

- 実施主体 環境省 九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所
- 実施場所 阿蘇市郡内小中学校、高等学校および地元牧野等
- 実施期間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月（通年・学校の要望に対応）



◇背景・ねらい

阿蘇に暮らしているながら、草原と人との関わりについて知らない子どもたちが多いのが現状である。阿蘇の草原を守っていくためには地元の理解が不可欠であり、そのためにはまず、地元の子どもたちに阿蘇の草原環境に興味・関心をもってもらうことが重要である。そこで、小中高校の総合学習や地域学習などの時間に出前講座を行う。これらの学習を通して、阿蘇の草原は人の手によって守られてきた事、千年を超える長い歴史の中で守り続けられてきたことを伝え、子どもたちが故郷を誇りに思う気持ちを育てる。

◆実施概要

- ・阿蘇草原キッズ・プロジェクトの一環として作成した基本プログラムを活用して、阿蘇の草原環境に興味・関心を持ってもらえるように、学校の先生と相談しながら学習内容を企画した。
- ・必要に応じて、小委員会のメンバーや牧野組合の方々、専門家の方々などに協力を依頼した。
- ・主に小学校中学年と高学年を対象に行った。

◆実施体制

- ・地元牧野組合、九州バイオマスフォーラム、阿蘇ジオパーク推進室、阿蘇グリーンストック。

◆成果

阿蘇郡市内外の 8 小中学校を対象に計 18 回、のべ 378 名（重複分除く）に出前講座を行った。

○通年の学習プログラム（年間通して複数回行う）、阿蘇郡市内 3 校

- ・坂梨小学校 3～4 年生 16 名（3 回）、5 年生 10 名（2 回）、6 年生 10 名（1 回）
- ・阿蘇小学校 6 年生 37 名（3 回）、5 年生 46 名（2 回）
- ・りんどうヶ丘小学校 4 年生 12 名（2 回）

○関係団体との連携プログラム（阿蘇郡市内 4 校）

- ・阿蘇西小学校 6 年生 9 名
- ・尾ヶ石東部小学校 4～6 年生 26 名
- ・山田小学校 5～6 年生 17 名
- ・産山小学校 5 年生 11 名

○その他や阿蘇郡市外の学校（熊本市内 1 校）

- ・熊本市桜木中学校 1 年生 184 名 211 人。

◆実施者の感想

- ・阿蘇ジオパーク推進室と初めて連携し、インターネットの映像や PPT、火山の噴火実験などを交えて事前学習を行ったうえで、米塚洞窟や周辺の草原にて火山から草原への移り変わりなどを体験することができた。
- ・尾ヶ石東部小学校では「野草紙をつかった版画」を作ってミラノ万博に出展するという目標をたて、作品応募に間に合わず事ができ、入賞作品がミラノ万博で展示された。連携ができていから為し得たことと思う。



ススキ刈り



野焼きのあと



いきもの観察